

株式会社 JEPLAN
2023 年 10 月 23 日

JEPLAN が“ボトル to ボトル”を協働する長崎県 長崎市と
再生 PET 樹脂を用いた地域オリジナルの循環型ボトル「ながさき水道水」を制作
-JEPLAN グループでは水道水を充填した初めての地域ボトルが誕生-

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下 JEPLAN）は、JEPLAN のグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役社長：伊賀 大悟、以下「ペトリファインテクノロジー」）とボトル to ボトルのリサイクルに取り組む長崎県長崎市（市長：鈴木 史朗）と協働し、再生 PET 樹脂を用いた地域オリジナルの循環型ボトル（以下、「本ボトル」）を制作いたしました。



日本のペットボトルは回収率 94%、リサイクル率 86%^{*1} と非常に高い数字である一方で、回収されたペットボトルがペットボトルに再生されるとは限りません。新たな製品へと生まれ変わったとしても、それが再びリサイクルできるものでなければ、いつか地球上の資源に限界がきます。JEPLAN グループでは、全国の様々な地域と連携をしてペットボトルを回収し、再び新たなペットボトルに生まれ変わらせる資源循環を推進しています。現在、JEPLAN グループでは 27 の自治体とともにこの取り組みを進めており、長崎市とは 2022 年に協働を始めています。

通常、ボトル to ボトルのリサイクルは使用済みペットボトルを新しいペットボトルに再生するまでの工程となるため、回収地域の皆様に再生 PET 樹脂を用いたペットボトルを資源として実感していただく機会が乏しい状況です。そういった状況を解決すべく JEPLAN は今回の長崎市との取り組み同様に、2023 年 3 月に大分県別府市、2023 年 7 月に神奈川県藤沢市とのオリジナルペットボトル制作を行ない、資源循環の見える化を通して、地域住民の分別回収への意欲向上や水平リサイクルによる資源循環の重要性の認知獲得に取り組んでいます。今回、長崎市との地域オリジナルボトル制作は、JEPLAN グループにとって、ボトル to ボトルに取り組む地方自治体の中で全国 3 番目の取り組みになります。

本ボトルは、使用済ペットボトルを JEPLAN グループ独自の PET ケミカルリサイクル技術により再生した PET 樹脂を用いて製造しています。分子レベルに分解した後不純物を取り除き、石油由来の PET 樹脂と同等品質の PET 樹脂に再生するため、回収した使用済ペットボトルを何度でもリサイクルすることが可能です。

本ボトルのラベルには、ゼロカーボンシティの宣言を掲げる長崎市の象徴「Zero Carbon Action Nagasaki」のロゴがあしらわれ、未来に向けた平和への願いをあかるくイメージしたデザインとなっています。また JEPLAN の何度でも生まれ変わる循環のシンボルであるハチマークも描かれています。「ながさき水道水」と銘打たれた本製品には、明治時代より給水を開始し「長崎おいしい水の日」を制定するほどのこだわりをもつ「長崎市の水道水」が充填されていて、JEPLAN グループが制作するボトルとしては、全国で初めて水道水が充填された地域オリジナルの循環型ボトルになります。なお、本ボトルは、2023 年 11 月に開催されるながさきエコライフ・フェスタでの披露を予定しています。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というビジョンの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーの牽引に努めてまいります。

※1 出展：「PET ボトルリサイクル年次報告書 2022」

■ BRING BOTTLE WATER -長崎市オリジナルボトル-

品名：ミネラルウォーター

原料名：水（水道水）

内容量：290ml

採水地：長崎県手熊町

製造所：長崎名水株式会社

- 特徴：・PET ボトルは使用済ペットボトルを原料に、JEPLAN グループ独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いてリサイクルされた、石油由来の樹脂と同等品質をもつ再生 PET 樹脂を使用しています。
- ・分子レベルに分解した後不純物を取り除き、PET 樹脂に再生するため、回収した使用済ペットボトルを何度でもリサイクルすることが可能です。

<オリジナルラベル>

ケミカルリサイクルで何度も何度も循環。

このペットボトルは、分子レベルでリサイクルする技術 [BRING Technology™] でつくられた何度も循環するボトルです。地球のために、ペットボトルを循環させましょう。

ペットリファインテクノロジー(商標) / (株)JEPLAN

名称	ボトルドウォーター
原材料名	水(水道水)
内容量	290ml
賞味期限	
保存方法	高温・直射日光は避けて保存してください。
採水地	長崎県手熊町(手熊浄水場)
製造者	長崎名水株式会社 長崎県諫早市美奈町2214 TEL.(0957)32-2539

長崎市上下水道局水質管理室調べ

栄養成分表示(100ml当たり)
エネルギー 0kcal タンパク質、脂質、炭水化物 0g 食塩相当量 0.0g カルシウム 0.63mg マグネシウム 0.24mg カリウム 0.06mg

硬度: 25.6mg/L ph 値: 7.6

長崎市上下水道局
長崎市魚の町4番1号 TEL.(095)829-1203
開発後は、早めにお召し上がりください。

長崎水道
SINCE 1891

長崎市で回収されたペットボトルの一部は JEPLAN グループでリサイクルされ、再びペットボトルに生まれ変わっています。

Zero Carbon Action Nagasaki
わたしたちからできるゼロカーボン

なんどもリサイクルできる再生PET使用

■ 長崎県長崎市 (<https://www.city.nagasaki.lg.jp/>)

市長：鈴木 史朗

■ 株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp/>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007年1月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

「あらゆるものを循環させる」をビジョンに掲げ、広くサプライチェーンに携わりながら、独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いたものづくり、事業開発や技術ライセンスの展開を推進することで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減に寄与しています。

独自のケミカルリサイクル技術と資源循環の仕組みづくりにより、不要な衣類を回収し「服から服をつくる」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING」の運営や、自治体や企業との連携によりペットボトルを何度でも繰り返しリサイクルを実現する資源循環の事業に取り組んでいます。

資源循環を社会に実装するため、PET ケミカルリサイクルのプラントを北九州響灘と川崎（グループ会社：ペトリファインテクノロジー株式会社）の2拠点で運営しています。

■ ペトリファインテクノロジー株式会社 (<https://www.prt.jp/>)

代表取締役：伊賀 大悟

設立：2008年10月

事業内容：独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いた使用済みペットボトルのリサイクル樹脂の製造・販売